

平成21年度
八尾市産業振興会議報告書
～ 資料集 ～

平成22年3月

八尾市産業振興会議

資料一覧

(ものづくり関連施策)

資料 1	ものづくり集積促進奨励金	1
資料 2	中小企業サポートセンター事業	2
資料 3	企業情報データベース化事業（八尾ものづくりネット）	5
資料 4	異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業	6
資料 5	ビジネスマッチング博（産業博）	7
資料 6	ものづくり受注商談会	9
資料 7	ものづくり人材育成支援事業	10
資料 8	地域資源活用モデル商品開発事業	11

(商業関連施策)

資料 9	商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんど On-Do ネット）	12
資料 10	公募提案型地域商業活性化事業	13
資料 11	地域商業活性化事業補助金	15
資料 12	八尾商業まつり・第2回八尾あきんどまつり	16
資料 13	地域商品券発行事業	17
資料 14	商業施設充足度等調査事業	19

(その他施策)

資料 15	商工振興拠点施設整備促進事業	20
-------	----------------	----

ものづくり集積促進奨励金

【制度創設】

平成19年10月1日

【事業目的】

市内産業集積の維持発展のために、製造業者の市内での工場等の設置に対し奨励措置を講じることにより、本市での工場等の立地を促進し、また工業生産施設が集積する地域での円滑な生産活動を確保することにより、雇用の創出、産業振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

【対象事業 等】

[対象者] 製造業を営む者

[対象事業] 延床面積500㎡以上の工場等の建築又は購入

[対象地域] 工業専用地域、工業地域、準工業地域

[対象資産] 工場等を建築又は購入するにあたって投資した土地、建物、償却資産のうち機械装置

[奨励金額] 対象資産にかかる固定資産税、都市計画税の1/2以内

[交付期間] 5年以内

【指定事業数】

年度	指定件数	備考
平成19年度	13件	うち市外企業4件、市有地購入企業3件
平成20年度	11件	うち市外企業1件
平成21年度*	6件	
創設からの累計	30件	

* 平成22年3月末現在

【交付件数実績】

年度	交付件数	備考
平成20年度	1件	
平成21年度	9件	平成21年度新規交付事業者8件
平成22年度	21件(予定)	平成22年度新規交付事業者12件

中小企業サポートセンター事業

—事業概要—

中小製造業の研究・技術開発、製品開発、経営革新、人材確保・育成などの相談窓口を設置し、大学・公的支援機関への橋渡し、公的支援制度の紹介や企業間連携を図りながら、専門のコーディネータによる相談・アドバイスをを行った。また、技術・経営の高度化のためのセミナーの開催や研究会活動、産学官連携事業を行った。

平成19年度以降は人材確保や工場管理等に関するコーディネータを迎え入れたことで支援メニューが手厚くなり、相談件数が増大したが、平成21年度は人材確保関連の相談の減少に伴い、前年度より減少した。

1. 相談事業

(1) 専門のコーディネータによる相談・アドバイス

相談総数 1,090件 (内訳) 技術相談 722件、人材相談 292件 その他 76件
(3月末現在) (※平成19年度 年間1,296件、平成20年度 年間1,700件)

【相談内容等】

加工技術や製品開発に関する相談、公的支援制度認定申請に関する相談、工場管理に関する相談、人材確保・育成に関する相談、特許相談(専門相談員)などを行なった。

企業現場のニーズにあったアドバイスができるように、企業訪問を重視。国・府や大学等の関係機関への橋渡し等により、課題解決につなげた。

(2) 国・府による支援事業の採択・認定等のサポート

相談業務を通じて、公的支援制度・事業の情報提供や、事業認定や承認に関するアドバイスをを行った。

- ① ものづくり中小企業製品開発等支援補助金申請支援【経済産業省】・・・12社採択
- ② 経営革新に係る承認申請【大阪府】・・・1件 など

(3) ビジネスマッチング支援

公的機関等(国、府、けいはんな等)が開催する展示会・マッチング会を通じて、市内中小企業の技術のマッチング支援を行った。

2. セミナー開催事業

9回開催 147社 214名参加

(1) 新事業展開研究会セミナー

4回開催 45社 72名参加

【内容】

市内中小企業が新産業・新分野への進出を図ることを目的に、そのための課題について検討し、その解決に向けたセミナーを開催した。

(新産業・新分野テーマ内容)

航空・宇宙産業、農商工連携、知的財産、海外展開等

(2)経営革新セミナー

5回開催

102社

142名参加

【内容】

経営者を対象に、中小企業の経営理念・目的の明確化、組織風土・職場環境の改革、人材確保・育成の課題について検討し、その解決に向けた経営革新の意義についてのセミナーを大阪府や関係機関、経営革新計画認定企業等の方々を講師として開催した。

3. 産学連携・研究会活動事業 その他

1)研究会活動

「八尾バリテク研究会」

6回開催

109社147名参加

加工業のバリの課題解決のための研究会を開催。関西大学との産学連携を軸に展開。

平成20年度より自主的運営を行い、平成21年度は、22社4団体で開催。関西大学の北嶋教授の指導の下、会員企業の工場見学や関西大学の研究室訪問などを実施し、現場で課題解決についての検討を行った。

なお、12月3・4日に大田区において、「2009にいがた燕三条技術交流 IN 東京」に初出展し、研究会活動をPRした。

2)その他の産学官連携事業

(1)国立奈良工業高等専門学校との産学連携

市内製造業の生産の高付加価値化に向けての人材育成の一助のため、「組み込みシステム技術者養成講座」への参加呼びかけを行った。(市内企業からあわせて15社20名参加)。また、同講座の修了者へのフォローも実施した。

(2)その他 市内企業と大学等との共同研究を支援

(関西大学、近畿大学、大阪府立大学、立命館大学など)

3)人材確保・育成事業

(1)工科高校との連携事業

【内容】

大阪府ものづくり人材育成事業「クラフトマンシップ21」事業の一環として、布施工科高校や城東工科高校との連携事業を進めた。

①城東工科高校への市内企業からの熟練技能者派遣への協力

②布施工科高校インターンシップ受入協力企業の確保 市内企業 3社

③布施工科高校PTA主催による企業見学会(3社)のサポート

(2)新卒者採用支援

製造業の経営・技術の高度化を担う人材を確保するために、大学や工科高校、雇用能力開発機構、府下の高等職業技術専門学校との連携を図り、企業に対して校内企業説明会の開催案内などの情報提供を行った。

4)「八尾ロボットフェア2010」開催への協力

参加者数 約2,000名

【日時】 2月13日(土) 場所 アリオ八尾

【内容】「第2回八尾ロボットコンテスト」、「大学のロボット体験・展示コーナー」

*「八尾市をあげて、将来のお茶の水博士を育てよう」との思いから、「マテック八尾」が主催した「八尾ロボットフェア」の開催について、大学・高専やアリオ八尾などの関係機関との調整や広報などの協力を行った。

5)情報提供

企業データベース登録企業へ公的支援制度等の情報提供を FAX 等により適宜行なった。

異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業

○事業概要

「ものづくりのまち・八尾」のブランド化を推進するような新製品や新技術の研究開発を行う事業に要する経費の一部を助成する。

・補助対象

製造業事業者(中小企業)で組織する協同組合、研究会、グループ等でその構成員のうち2分の1以上が八尾市内に主たる事業所または支店等を有すること。

・補助率及び補助金の額

補助対象経費の2分の1以内で1事業あたり1,000,000円を限度とする。

○趣旨・目的

異業種グループ等の新技術・新製品の開発に対し助成するもので、八尾市企業のPRや「ものづくりのまち・八尾」のブランド化推進に資することを目的とする。

○実績

申請	3件	計	2,500,000円
採択	1件	計	370,000円

ビジネスマッチング博（産業博）

◎ 事業内容

大阪府下6地域で連携し開催した東京開催と、八尾市単独で開催した大阪開催と年2回開催

【東京開催分】(※以下の報告内容は大阪ビジネスEXPO2009全体でのもの)

名 称	大阪ビジネスEXPO2009
会 期	第一日目 平成21年6月4日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成21年6月5日(金) 午前10時～午後5時
会 場	大田区産業プラザPiO 東京都大田区南蒲田1-20-20
運 営	大阪ビジネスEXPO2009運営委員会
構 成	「もうかりメッセ東大阪2009 in 東京」(68社・団体) 「河内ものづくりフェア2009」(53社・団体)
後 援	経済産業省関東経済産業局・近畿経済産業局、大阪府、東京都大田区、 日本貿易振興機構(JETRO)、中小企業基盤整備機構、 大田区産業振興協会、日本商工会議所、関東商工会議所連合会、 近畿商工会議所連合会、大阪府商工会議所連合会、東京商工会議所
出展企業	121社・団体
小 間 数	154小間
来場者数	延べ5,050人
引合件数	4,008件

【大阪開催分】

名 称	ビジネスマッチング博2009(八尾市産業博)
開催趣旨	ビジネスチャンスの発見と獲得、人脈の拡大、異業種交流の推進、 販路の拡大、より良い情報の収集
会 期	第一日目 平成21年10月15日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成21年10月16日(金) 午前10時～午後4時
会 場	マイドームおおさか 1階展示場 大阪市中央区本町橋2-5
主 催	八尾市産業博開催実行委員会 (八尾市、八尾商工会議所、大阪東信用金庫)
後 援	近畿経済産業局、大阪府
協 賛	財団法人 大阪産業振興機構 財団法人 日本中小企業福祉事業財団(日本フルハップ)
出展企業	72社・団体
小 間 数	87小間
来場者数	8,769名
引合件数	4,522件

ものづくり受注商談会

【事業概要】

事業名	八尾ものづくり受注商談会2009(逆見本市)
開催趣旨	八尾のものづくり企業の製品・技術の情報発信、販路の開拓・拡大
内容	「売り手側」が出展する通常の見本市ではなく、大手・中堅の「買い手側」企業が出展する逆見本市スタイルの展示会
会期	平成21年11月30日(月) 10:00~15:00
会場	八尾商工会議所 3階 講堂 八尾市本町2-2-8
主催	八尾市、八尾商工会議所
出展企業	5社
来場企業	延べ31社

ものづくり人材育成支援事業

1. 技能者育成セミナーの開催

(1) 趣旨・経緯

市内中小企業が高度な技術・技能を持つ人材を育成し、製品・技術開発力を向上させることにより、産業集積の高度化へとつなげる

(2) 内容

○「金属材料の特性と活用技術」

日 時：平成21年11月12日(木)、13日(金)、18日(水)、19日(木)

場 所：八尾市中小企業サポートセンター 多目的室

講 師：(独)雇用・能力開発機構奈良センター 講師 中崎一之 氏

対象者：現場で機械加工等に従事する方で、金属材料に関する知識、技能・技術を必要とする方。

主 催：八尾市、(独)雇用・能力開発機構奈良センター

参加者：10名

○「生産現場で活用する現場問題解決技法」

日 時：平成22年2月4日(木)、5日(金)

場 所：八尾市中小企業サポートセンター 多目的室

対象者：生産効率の向上、品質の向上を目指し、生産現場で業務改善の指導的・中核的役割を担っている方、今後新たに業務改善に取り組もうとされている方などを対象

講 師：(独)雇用・能力開発機構大阪センター 講師 天方健二 氏

主 催：八尾市、(独)雇用・能力開発機構大阪センター

参加者：17名

2. 技能者育成・従業員能力開発にかかる情報提供

(独)雇用・能力開発機構大阪センターおよび、八尾商工会議所と連携し、それぞれが実施している人材育成関連事業を取りまとめた冊子「人材育成ガイド」を作成。市内中小企業に配布（企業情報データベース1200社への送付、市・商工会議所窓口での配架等）予定。

地域資源活用モデル商品開発事業

○事業概要

平成20年度に実施した「名物アイデアコンテスト」の提案内容を中心とした、八尾市の地域資源を活用した商品（試作品）の開発（企画提案型公募委託事業）。

○趣旨・目的

地域資源を活用した新商品開発による、本市の地域資源の内外での認知度向上および、それらを活用した地域産業の活性化。

○採択案件（2件）

・「八尾えだまめごみ箱」

採択事業者：(株)関西クラウン工業社

商品概要：名物アイデアコンテスト受賞アイデア「えだ豆ごみ回収ボックス」を活用した商品。八尾えだまめをモチーフにし、資源物、ペットボトル、容器包装プラスチックのリサイクル可能なごみを分別し、入れることができる。

・「八尾えだまめブルブル競争」

採択事業者：株式会社アーテック

商品概要：手回し発電機を使って電気を発生し、その電気で小型モーターを回転させ、接続した八尾えだまめをモチーフにしたキャラクターを振動させることで、ユーモラスな動きをさせる科学工作玩具。キャラクター同士の対戦を楽しむことも可能であり、また、発電機の製作を通して子どもたちの科学への関心を高める効果も見込むことができる。

○開発商品の活用

- ・地域資源を活用したモデル商品を市主催イベントにおいてPR展示した。
 - * 八尾えだまめごみ箱：八尾ロボットフェア会場で展示（平成21年2月13日）
- ・今後も、イベントや市関連施設で展示することにより、本市地域資源の普及啓発のツールとして活用していく。



八尾えだまめごみ箱(八尾ロボットフェア会場で展示)

商業ネットワーク化支援事業

(八尾あきんど On-Do ネット)

1. **事業目的** 商業者と消費者および行政をつなぐ情報基盤を整備することで、市内及び周辺地域からの市民の購買機会や交流機会を促進し、地域活性化を図る。
2. **事業内容** 事業者の登録データを一元管理し、インターネットにより個店情報を発信することで、地域の消費者の利便性向上と個店の振興を図る。
3. **対象事業所** 市内に店舗を有する小売・卸売・飲食・サービス業の事業所のうち、市が対象と認めるもの。

4. 事業経過

年度	事業内容
平成13年度	登録に関する意向調査、システム構築など
平成14年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 ※7月14日発信開始
平成15年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 バーチャルモールの設置
平成16年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新
平成17年度	企画選定方式により委託業者を募集し、NPO法人に決定する。 サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページのリニューアルを実施する。
平成18年度	新規コンテンツとして、「うまいで！食べてや！！八尾特産物」を設置する。
平成19年度	全登録事業所に情報更新を依頼する。サイト上で、消費者向けアンケートを実施する。
平成20年度	新規コンテンツとして、「商店街・市場マップ」、「マンスリーこれどやっ！」を設置する。ロゴ入りステッカーを制作し、登録事業所に配布する。
平成21年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページ及び個店ページのリニューアルを実施する。

5. 平成21年度実績

登録事業所数	1, 005件 (平成22年3月31日現在)
月間平均アクセス数	26, 733件 (平成21年4月～平成22年3月)
月間最高アクセス数	30, 715件 (平成22年3月)

公募提案型地域商業活性化事業

1. **事業目的** 地域商業をまちづくりに積極的に活用し、その社会的有効性及び存在価値を高めることで、“商業とまちの活性化”を推進する。
2. **事業内容** 提案のあった取組みを、地域商業活性化アドバイザー等から成る審査会により選定し、市費による委託事業として実施。当委託事業により、商店街、小売市場等の先進的な取組みを財政面から支援するとともに地域商業活性化アドバイザーの助言・指導をあわせて行うことで、他団体のモデルとなり得る事業を推進し、“商業とまちの活性化”を図る。
 なお、大阪府（大阪府商業活性化総合補助金）より八尾市地域商業活性化アドバイザーの謝礼を含め、4分の1の補助を受けている。
3. **委託先** 2件（龍華市場商業協同組合、JR八尾駅前商業協同組合）

4. 委託内容

○龍華市場商業協同組合 『市場商人が仕掛ける八尾の野菜の浸透事業』

【達成目標】

八尾の野菜を、八尾の八百屋が売り、これを八尾の小売市場の特徴としてアピールする。また、市民に、安全・安心の地場野菜を届け、八尾の商業活性化とまちづくりに寄与する。そのために、農家からの直接仕入れと、店頭での販売を試行し、実現を図る。また、次年度以降に事業を推進・展開させていくための土台構築を図る。

【アドバイザーの助言・指導】

目標達成に必要な仕入れルート、販売方法の確立 及び この取組みを八尾市全域へ拡大させる方法等を助言・指導

- ・ 事業設計への助言，助言方法の検討
- ・ 仕入れ先開拓への同行（市内個人農家・農家グループなど）
- ・ 店頭販売への助言（パッケージ，POP等）
- ・ 商品開発，販売方法の研究（先進事例視察）
- ・ 試験販売の実施，効果検証への助言
- ・ 今後の展開への助言

【取り組み内容】

- ・ 仕入れ先の開拓（市内個人農家や生産者グループを訪問、打ち合わせ等）
- ・ 八尾野菜の店頭販売に向けたキャッチコピー、パッケージの検討
- ・ 各市場の代表者等に本事業の趣旨説明、賛同の呼びかけ
- ・ パッケージの製作（軟弱野菜袋、えだまめ袋、若ごぼう袋等）、のぼりの製作
- ・ 各市場の青果担当者に本事業の趣旨説明、賛同の呼びかけ

【成果報告】

八尾野菜の仕入れ先については、生産者グループ（堆肥研究会）と地元生産者を1名確保できた。ただし、卸売市場での流通を基本としているため、常時仕入れは困難な状況であり、他の生産者確保が今後必要となってくる。

自店ではすでに八尾野菜の店頭販売を実施しており、地元産を強調するセール等により、消費者の評判も上々である。

地元商業者による共同販売に向けては、八尾市小売市場連合会傘下の青果店等に趣旨説明をした結果、趣旨には賛同いただいた。今後、製作したオリジナルパッケージを自店店頭で使用するとともに、八尾市小売市場連合会傘下の青果店等にも見学してもらい、八尾野菜の共同販売に向け普及に努めていく。

オリジナルパッケージを使用した『八尾市の市場商人』による共同販売が実現すれば、地元商業者の存在が消費者に再認識され、さらには大手量販店との差別化にもつながると考える。また、さらなる生産者確保により、安全・安心で美味しい八尾野菜を消費者に常時提供することが可能となる。

○JR八尾駅前商業協同組合 『地域のふれあい昔遊び』

【達成目標】

地域交流イベントである「地域のふれあい昔遊び」の来場者を、商店街に回遊させるなど、商店街活性化に役立てる。

【アドバイザーの助言・指導】

目標達成に向けて、地域交流イベントの展開について助言・指導。

- ・現状のヒアリング、事業内容の検討
- ・活性化事例勉強会による活性化方向の検討
- ・組合アンケート分析による活性化方向の検討
- ・地域交流イベントでの取り組みや店頭訴求について助言
- ・取り組みの振り返り、今後の活かし方への助言

【イベント内容】

日時：平成21年10月25日（日）13時～16時

場所：渋川神社境内および商店街内

取り組み：これまでの昔遊び（竹馬遊び、うぐいす笛作り等）に加えて、スタンプラリーによりイベント来場者を商店街に回遊させ、3店舗にて逸品をPRした。

【成果報告】

「地域のふれあい昔遊び」において実施した「擬似お買い物ラリー」では、約400人が参加し、イベントを商店街の人通りの増加につなげる有効な手法となった。併せて実施した店頭訴求については、歳末売り出しにおける個店の逸品紹介等につながっており、個店の活性化ひいては商店街の活性化につながった。また、地域通貨発行事業を行うNPOとも連携して、ボランティアの謝礼として地域通貨を活用することにより商業活性化を図るとともに、八尾市商店会連合会の報告会で事例発表することにより、市内各商店街への波及に努めた。今後は、「地域のふれあい昔遊び」を継続実施していくとともに、例えば当該イベントと特価市を同時開催するといった形に発展させていきたい。

地域商業活性化事業補助金

1. 事業目的 商店街や小売市場等が地域社会に向けて行う活性化事業に対し、その事業に要した費用の一部を補助することで、商業団体の発展と住民福祉の向上に寄与する。

2. 事業内容 商業団体が行うソフト事業について、市よりその経費の2分の1を補助する。（補助上限額：1団体あたり年間54万円まで）

3. 平成21年度実績（15件）

	事業実施団体	事業名 及び 事業内容
1	JR八尾駅前商業協同組合	旧植田家住宅オープン記念イベント 加盟各店舗において、旧植田家住宅入館チケットを配付することにより来店者の増加を図った。
2		花いっぱい運動と声かけ運動 老人会や高校生グループの協力により、駅前花壇の植え込み整備と域内の環境美化活動を行った。
3	新栄商店会	ふれあいまちづくりカラオケ大会 地域消費者との交流を深めるため、アリオ八尾の舞台を借りて、カラオケ大会を開催した。
4		ふれあいまちづくり餅つき大会 地域消費者との交流を深めるため、桂青少年会館にて餅つき大会を開催した。
5	高安駅西整備振興会	ふれあいまつりと美化作戦 高安駅西地区ふれあいまつりと美化活動を開催し、住民とふれあうことで、地域の活性化に寄与した。
6		防犯キャンペーンとクリスマスのイルミネーション 高安駅前交番隣にクリスマスのイルミネーションを設置するとともに、八尾警察署、自治推進課等の協力を得ながら、ひたくり防止カバーを配布した。
7	高安駅前商店会	夜店祭りin高安駅前商店街 地域住民とのふれあいを通して、商店街の活性化と地域に密着した商店街をアピールできた。
8	ペントモール八尾協同組合	ホームページ作成及び活性化事業 ホームページを作成し、個店や商品等の情報発信し、商店街の魅力向上を図った。また、活性化事業としてガラガラ抽選会を実施した。
9	八尾市商業協同組合	わんぱくちびっ子カーニバル 商店主が模擬店を出店し、地域の子ども達を招待。併せて、八尾警察署と八尾市消防本部の協力による交通安全キャンペーン、防火キャンペーンを実施した。
10		お速夜市イベント 伝統あるお速夜市を復興させるため、毎月11日、27日に「お速夜市セール」を開催し、セールの開催にあわせて付近の寺社と連携した「はがき供養」を行った。
11	山本商店街振興組合	花いっぱい運動とコンサート 山本コミセンでコンサートを開催するとともに、商店街会員に鉢植えを配付し、商店街全体を花で飾った。
12	山本南商店街振興組合	ふれあいイベント 夏まつり夜店 地域の子どもや商店街の買い物客を対象とした夜店まつりを開催。模擬店、ゲームコーナー等を設け地域の消費者と交流と商店街の活性化を図った。
13		おすもうさんと餅つき大会 力士による餅つきの実演と記念撮影を行い地域住民と交流を図った。
14	八尾市商店会連合会	第1回八尾あきんどまつり 4月24日(金)
15	八尾小売市場連合会	第1回八尾あきんどまつり 4月24日(金) 平成20年度に制作した「八尾あきんどエコバッグ」を市内20商店街・小売市場において、一斉に配布するにイベントを行った。また、PRのための共同チラシを作成し、当日の新聞広告として折り込んだ。

八尾商業まつり・第2回八尾あきんどまつり

(八尾商工会議所との共同事業)

◆八尾商業まつり

1. **事業概要** 商店街、小売市場等の商店や単独店等の参加を募り、八尾市、八尾商工会議所と参加店が協力し、一定期間内に参加店で買物をした場合、お買い上げ金額に応じて、抽選券(スクラッチカード)を進呈。当選は参加店で使用できる100円金券。更に、Wチャンスとして、抽選券の連番により電動アシスト付自転車、ミニラップが当たる事業を実施。
2. **実施期間** 平成21年10月1日～平成21年10月15日
3. **参加店舗数** 617店舗
4. **抽選券発行枚数** 300,000枚(スクラッチ方式&Wチャンス)

◆第2回八尾あきんどまつり(商店街等活性化負担金事業)

1. **目的** 八尾市・八尾商工会議所・商業団体(商店会連合会、小売市場連合会)が一体となって、集団での共同経済事業、集積地での地域貢献活動を実施し、商業者による地域への還元と貢献を促進し、商業集積地ににぎわいをもたらす。
2. **経過** これまでは、職業体験情報誌や商業情報誌発行事業を行っていたが、今年度は「商店街等活性化負担金事業」として商店会連合会と小売市場連合会の共同チラシの作成やエコバッグ携行促進キャンペーンを実施。
3. **事業概要**
 - 共同チラシの製作 <情報発信>
八尾市商店会連合会と八尾小売市場連合会が協力し、各団体のPRチラシ(B2両面、4色刷り)を作成。
 - エコバッグ持参キャンペーンの実施 <地域への貢献>
市内商店街や小売市場で買い物をした消費者のうちエコバッグを持参した消費者、レジ袋を断った消費者等に対して抽選券を配布し、当選券については各商店街、小売市場で使用できる商品券と交換した。
 - 連合会組織による販促事業 <組織力の強化、地域への還元>
上記の3事業を「第2回八尾あきんどまつり」として実施。
4. **実施日** 平成21年11月26日(木)～12月2日(水)
当選発表：12月3日(木)

地域商品券発行事業

1. 事業目的

定額給付金の交付時期に合わせて、八尾市内でのみ流通する「地域商品券」に10%のプレミアムを付けて発行することにより、消費を喚起し、地域の経済活性化を図るとともに、中小小売商業振興の一助とする。また、今後発行する地域通貨事業に繋げていく。

2. 事業実施主体

八尾市地域商品券発行事業実行委員会

- ・ 八尾小売市場連合会
- ・ 八尾市商店会連合会
- ・ NPO法人 八尾市生き生き会議
- ・ 大阪東信用金庫
- ・ 八尾商工会議所

3. 事業概要

(1) 登録店の募集

- 【対象】 小売、飲食、サービス業等で市内に店舗を有する中小企業者等
 【募集期間】 平成21年4月1日(水)～平成21年4月30日(木)
 【登録店数】 998店舗 (連合会加盟店 384店、一般登録店 614店)

(2) 商品券の販売 11,000円分(500円券×22枚綴)を10,000円で販売

- 【販売総額】 1億1千万円
 【販売冊数】 1万冊 ※ただし一人3冊以内
 【発 売 日】 平成21年5月28日(木)
 【有効期間】 平成21年5月28日(木)～平成21年8月31日(月)
 【販売場所】 20ヶ所(商店街12ヶ所、小売市場5ヶ所、実行委員会3ヶ所)

(3) 換金の実施

- 【換金期間】 平成21年6月1日(月)～平成21年9月18日(金)
 【換金方法】 (連合会加盟店) 団体傘下の個店の換金を取りまとめ
 (一般登録店) 実行委員会事務局にて、口座振込み
 【換金実績】 99.865% (=219,702枚/220,000枚)

4. 事業成果

- ・商品券の発行、流通により、定額給付金が地域の消費に回り、地域の経済活性化が図れた。
- ・商品券が使用されることにより、発行額面金額以上の消費喚起につながった。
- ・商業者の団体組織に商品券の販売・換金などのノウハウが蓄積され、また、登録店として多くの店舗の参加もあり、今後の商業活性化に活かしていける。
- ・商業者と地域通貨の発行主体であるNPOが連携して事業を実施したことにより、地域通貨発行事業の拡大、促進につながった。

地域商品券（八尾あきんど商品券）



商業施設充足度等調査事業

【事業背景】

- 平成20年度実施の「商業調査」より
 - ・市内の地域商業は衰退しており、食料品の買物に一部不便な地域が発生するなど、市民生活にも影響を及ぼしていることが明らかになった。
 - ・行政は、商業者の事業機会の確保および市民の買物利便性の確保を図っていく観点から、商業者の自助努力に対する支援に加えて、大型店をはじめとする商業施設の立地など地域商業を取り巻く外部環境の変化に対応していくことが必要。
- 「平成21年度産業振興に関する提言書～今後の地域商業政策～」より
 - ・市内各地域の特性に応じた商業施設の立地誘導を図っていくことが必要

【事業目的】

八尾市全体及び市内各地域の商業施設の過不足状況を把握し、市内商業集積地の方向性検討や商業施設の立地誘導方策検討につなげる。

【事業概要】

八尾市内の商業施設・商業集積地の現況調査および市民の買物行動調査を実施し、既存の住民基本台帳データ等も活用して、市内各地域における商品等の供給力、購買力等を分析し、報告書にまとめた。

商工振興拠点施設整備促進事業

【事業概要】

八尾商工会議所の移転・建替えや八尾市の産業を取り巻く課題や事業者のニーズの変化などの社会経済状況を踏まえ、「商工振興支援の拠点づくりに関する基本合意」(平成21年2月5日締結)に基づき、八尾市の商工振興支援の拠点及び八尾商工会議所新会館を建設する。

【事業目的】

新たな産業政策の立案、新産業・新技術等育成、各種相談・支援、市民・事業者・NPO等との連携による産業振興、既存事業の統合・効率化

【施設概要】

- ・建築場所 旧教育センター敷地
 - ・敷地面積 2,503.74㎡
 - ・規模 地上3階、塔屋1階
 - ・延床面積 3,711㎡
 - 八尾商工会議所分 約2,698㎡
 - 八尾市分 約1,013㎡
- } 共用部分含む
- ・施設内容 八尾商工会議所
商工振興支援拠点
(産業政策課等執務室、インキュベートルーム、中小企業サポートセンター、セミナールーム、多目的室、相談ブース等)

【本年度の主な取り組み】

- ・「八尾商工会議所新会館等建設」建築設計・工事監理業務に関する協定書締結
(八尾市⇄八尾商工会議所)
- ・建築設計業務委託契約締結(八尾商工会議所⇄設計業者)
- ・建築監理業務委託契約締結(八尾商工会議所⇄建築監理業者)
- ・「八尾商工会議所新会館等建設」建築設計業務の費用負担に関する協定書締結
(八尾市⇄八尾商工会議所)
- ・土地建物等価交換契約締結(八尾市⇄八尾商工会議所)
- ・教育センター解体(八尾商工会議所)

【平成22年度の主な予定】

- ・建築事業者選定、文化財発掘調査、建築工事